

森の種の収穫研修

自生する木の種を集め、加工し、保管する方法を教える1週間の研修を11月と12月の2度、開催しました。研修には、アマパ国立公園とアマパ州有林の周辺に住むコミュニティから30人が参加しました。このような研修は、コミュニティが代替的な方法を通して追加的な収入を得られるようになるために重要です。それによって、保護地域内での狩猟や違法伐採などを減らすことができます。



森の種の収穫研修：理論と実践

小型ボートの運転研修

アマパ国立公園でのエコツーリズム事業の実施に向けて、小型ボートの運転方法を教える研修を実施しました。コミュニティから30人が参加しました。研修に参加すると、小型ボートの運転免許を取得でき、合法にボートを運転できるようになります。これは、コミュニテ

ィがエコツーリズム活動を始めるための第一歩です。アマパ国立公園でのエコツーリズムの実施を支援するために、新しい研修コースが予定されています。エコツーリズムを実施すると、コミュニティは追加的な収入を得ることができます。

国の農村住宅計画についての会議の開催

ブラジルのアマゾンで、少しの耕作と家畜栽培、そして森の恵みの収穫を組み合わせ生活しているコミュニティにとって、外部からの資金的、技術的な支援は欠かせません。一方で、地域を実際に変えていくことができるのは、コミュニティの人々自身です。彼らの力を高め、ていくことがとても重要です。

私たちは、アマパ国立公園とアマパ州有林の周りのコミュニティと一緒に、国の農村住宅計画を地域の人々がどのように活用できるかを話し合う会議を開催しました。農村住宅計画は小規模農家向けの政策で、住宅建設による借金を減らすためのものです。このような会議は、農民が政府職員から直接話を聞いて、心配なくこの政策を使えるようになるのに役立ちます。この活動は、私たちの活動戦略の一部で、コミュニティの組織を強化することによって、コミュニティの生活の質を改善しようとするものです。



アマパ州での農村住宅政策についての会議の様子